



令和3年度修学旅行について

新型コロナウイルス感染症の対応が続く中、令和3年度の行事予定については「けやきっ子」22号でお知らせさせていただいたところです。

今回、四日市市教育委員会から令和3年度の市内小学校の修学旅行につきまして、下記のとおり連絡がありましたのでお知らせさせていただきます。

○日数は1泊2日とする。

○目的地は「三重県内」とする。

【理由】

現在の全国的な新型コロナウイルスによる感染状況と、その終息の見通しが立たないことを鑑みて、県外への旅行による感染リスクを避け、実施に向けて児童の安全を最優先にした準備を計画的に進めていくため。

これを受け、羽津北小学校の令和3年度の修学旅行は、以下のとおりとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○日程：11月4日（木）、5日（金）の1泊2日

○行先：伊勢志摩方面

○宿泊先：鯨望荘（令和2年度修学旅行の宿泊先と同じです）

○見学先：令和2年度の行程を参考に、詳細は新年度に入ってから検討していきます。

特別支援学級学習発表会

2月19日（金）に特別支援学級学習発表会がありました。

今年は新型コロナウイルス感染症対策として、四日市市文化会館での発表会から、近くの学校同士でグループを組んだり、オンラインでつながりあったりしながら行う発表会に変更となりました。また、保護者の参観は中止となりました。

羽津北小学校の子ども達は羽津中学校まで出向いて、近隣の小中学校の子ども達と一緒に学習発表会を行いました。

羽津北小学校のプログラムは「みんなでNiZiu（なわとび）」です。学習発表会に向けて練習を積み重ねてきた成果を発揮して、しっかりとがんばりました。



竹あかりづくり～6年生～

2月16日（火）に、6年生の子ども達が地域の皆様にお世話になって「竹あかり」づくりを行いました。

この活動は、本校のコミュニティスクール（以下けやき委員会）の委員さんからのご提案により実現しました。

ご提案内容は、「羽津地区まちづくり協議会（以下まち協）で3月21日に額突山（糠塚山）市民緑地の完成イベントが計画されており、その中の一つとして『竹あかり』の制作・鑑賞を計画している。羽津北小学校の6年生も竹あかりづくりに参加できないか」とのことでした。



それを受け、今年いろんな行事を縮小せざるを得なかった中、6年生の卒業前の活動として良い思い出づくりとなればと考え、校内で検討させていただくことにしました。

「竹あかり」づくりの講師さんは、羽津北小学校のご出身で、作家として活躍してみえる森崇泰さんです。

「竹あかり」づくりでは電動ドリルを使って、デザイン図に沿って竹に穴をあけていく作業が中心となります。そのため、事前に森さんにお越しいただき、学校、けやき委員会、まち協の皆さんで実際に体験し、6年生の子ども達の活動として実施可能かどうかの確認をさせていただきました。そして、安全性の確保のため地域の皆様のお助けをお借りできるのであれば、教育活動として実施可能であると判断し、ご提案をお受けさせていただくことにしました。

また、密を避けるために1クラスを半分に分け、竹あかりづくりと並行して羽津地区の歴史を学ぶ活動もお願いしました。講師はまち協の事務局長であり、けやき委員会の委員でもある大西さんにお世話いただきました。



内容としては、小学生には難しい言葉が沢山出てきましたが、羽津地区に今も残る史跡等をご紹介いただきながら、実際に社会科で学習した歴史と重ね合わせて、自分たちが住む羽津地区の歴史について触れる機会となりました。



当日は、羽津地区みどりの会、PTA安全部、まち協、けやき委員会の皆様に加えて、連合自治会長さんや市議会議員さんなど、沢山の皆様がお越しくださいました。おかげで、子ども一人にお一方が寄り添っていただけるくらいの環境で、活動を進めることができました。

今回の活動は、子ども達にとって「地域の行事に参画すること」「地域の歴史に触れること」「本校出身の森さんの活動に触れること」そして「普段の授業では経験できない体験を、地域の方々にお世話になりながら体験させていただいたこと」など、とても貴重な体験となりました。

作った作品は、3月21日の額突山市民緑地完成記念イベントの他に19日の卒業式でも展示させていただく予定です。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

